



いつも元気に笑顔で働くミツを教えてもらって、笑顔の「匠」の素顔に迫るコーナーです。ここでは、日々の業務や職種についても詳しくご紹介いたします。

Group photo

シリーズ第11回 薬剤情報指導課
今回は、薬剤師として薬剤情報指導課に勤務する豊田さんにお話をうかがいました！



●●職員紹介●●
薬剤部・薬剤情報指導課の皆さん（前列右から3番目が豊田さん）

薬剤部・薬剤情報指導課とは？

当院の薬剤部には34名の薬剤師が勤務しており、「薬剤情報指導課」「調剤課」「薬品供給管理課」「製剤課」の4つの課に分かれています。その中で14名が薬剤情報指導課に所属し、医薬品情報担当者以外の薬剤師は病棟に常駐し、入院患者さまの服薬指導を行います。その他、カンファレンスや回診に参加し、様々な職種の方との情報共有を図っています。

当院での役割は？

病棟薬剤師の役割は、入院患者さまの薬の適正使用の推進です。入院患者さまへ初回面談で副作用・アレルギー歴、服薬状況（常用薬、サプリメントなど）の聞き取りを行い、入院中の使用の有無を医師へ確認します。入院中は、使用中の薬剤について用法用量・相互作用を確認し、

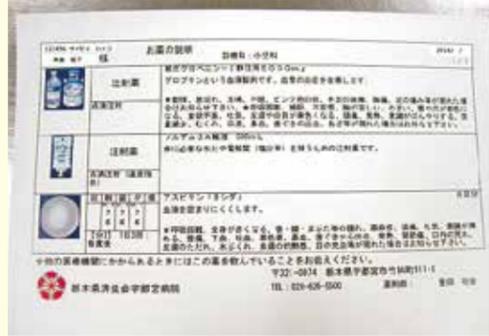
疑問があれば医師へ疑義照会を行っています。また、患者さまのところに伺い薬剤の説明（効果・副作用）と副作用・服薬状況の確認を行い、必要であれば医師へ報告し、提案などを行っています。

当院の薬剤師を選んだ理由は？

薬剤師には様々な分野において、「認定薬剤師」という資格があります。「認定薬剤師」とはその領域における知識や技能を兼ね備え、学術活動や研究実績を認められた薬剤師が有する資格です。当院には資格を持つ薬剤師が多くいるため、幅広い領域のエキスパートの方々と一緒に働き、学びたいと思ったからです。



薬剤情報指導課について



お薬の説明文書。説明後は、患者さまへお渡ししています。



小児科病棟の掲示板。各病棟の掲示板に、担当薬剤師の氏名が表示してあります。



患者さまの状態、治療方針について、医師や看護師とカンファレンスで情報共有しています。

薬の服用方法・効果・起こりうる副作用について、薬剤の写真も交えた説明文書を用いて、患者さまへお話ししています。特に、私の担当病棟である小児科は初めて薬を飲むお子さまや、粉薬が苦手なお子さまもいるため、それぞれの患者さまに適した剤型や服用方法の提案を行っています。また、食品によって飲みやすくなる薬や飲みづらくなる薬もあるため、食品と薬の飲み合わせについても指導を行っています。

マイ★スターに一問一答！



とよだ あかね 明音 さん

Q. この職種を目指したきっかけは何ですか？
A. 祖父が薬剤師だったことや、幼い頃に病院へ行くことが多かったため、医療関係の仕事に興味をもったことです。
Q. 趣味は何ですか？
A. テニスです。職場の方とも定期的にテニスをしてリフレッシュしています。

豊田さんのある日のスケジュール



- 8:00 出勤、準備
- 8:30 入院患者さまの調剤や服用状況の確認
- 9:30 担当病棟の患者さまの服薬指導・記録
- 12:00 休憩
- 13:00 担当病棟の患者さまの服薬指導・記録
- 17:00 病棟カンファレンスへ参加
- 17:30 退勤

特技は何ですか？

A. パン作りです。焼きたてのアツアツほかほかのパンを食べるのが大好きです。

尊敬する人は誰ですか？

A. 両親です。

好きな言葉は何ですか？

A. 逆境を楽しめ。

気分転換したいときはどうしていますか？

A. 食べることや出かけることが好きなので、少し遠出をして、美味しいものを食べに行きます。

どんな性格ですか？

A. ポジティブ思考！

今後の目標・意気込みをどうぞ！

A. 患者さまの不安な気持ちや辛い気持ちを少しでも解消できるように服薬指導を通じて関わっていききたいと思っています。

